



創設80周年特別展
日本民藝館所蔵

朝鮮工芸の美

2016年4月2日(土) - 6月12日(日)

□主催・公益財団法人 日本民藝館

後援・駐日韓国大使館 韓国文化院、韓国国外所在文化財財団、KOREA KF FOUNDATION 東京事務所

□写真・染付秋草文面取壺（瓢形瓶部分） 朝鮮時代 18世紀前半 12.8×11.8 cm □ <http://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館



1



2



3

創設80周年を記念する特別展の第一弾として、当館の所蔵する朝鮮時代（1392-1910）の諸工芸品約1600点の中から優品約300点を選び、一堂に展覧に供します。

創設者の柳宗悦（1889-1961）は、日常の器物にこそ豊かな民族性が表れていることを発見し、その美を称揚しました。暮らしを彩った陶磁器、絵画、木工品、石工品、金工品、編組品など、その独自の造形美をご堪能ください。

柳宗悦と朝鮮の工芸

国内屈指の質と量を誇る当館所蔵の朝鮮時代の工芸品の多くは、柳宗悦の「眼」と「足」により、1910年代から1930年代にかけて朝鮮半島で蒐集されたものです。そして、その活動を支えたのは浅川伯教（1884-1964）・巧（1890-1931）兄弟でした。兄の伯教は柳と朝鮮陶磁器との出会いを繋げ、弟の巧は柳と朝鮮の人々との結びつきを深めることに尽力したのです。柳は晩年に、「かく朝鮮の器物を好きになったのは、私にとって種々生涯の方向を定める事にもなり、うたた感慨が深い」（「四十年の回想」1959年）と述懐しておりますが、この二人との出会いを契機にして、柳は民衆の日常品のなかに驚くべき美の姿を見出し、後の民藝美学につながる思索を深めていくこととなったのです。

ところで、柳は器物にのみ興味や関心を示したわけではありませんでした。当時の韓国では民族の自決権が奪われ、また日本政府による同化政策が強制されていたのです。しかし、柳は時流に抗いつつ、朝鮮民族が保持する固有の文化に高い価値を認め、その保存と保護を訴えたのでした。器物への愛が、それを生み出した人々にも注がれることは、柳にとっては当然の行為であったのです。

今年は柳宗悦が初めて韓国を訪れてから100年にあたります。この節目の年に、韓国国外所在文化財財団による当館の韓国文化財の調査と、それに基づく修復事業が実施されたことは、大変に意義深く思われます。この展覧会を機に、柳の念願であった美の悦びを介しての日韓両国民の相互理解が、更に深まることを願ってやみません。

日本民藝館が所蔵する朝鮮時代の工芸品

蒐集の中心は朝鮮時代の陶磁器です。朝鮮時代初期の三島手（粉青沙器）の碗や瓶などに加え、井戸茶碗などの碗類、中期から後期の白磁の壺や祭器、染付（青花）、辰砂、鉄砂で加飾された壺や瓶や皿、黒釉や飴釉を施した壺や鉢や瓶、様々な形状の水滴などが所蔵されています。絵画の分野では、朝鮮時代後期に描かれた民画類が主体です。絵画が暮らしに溶け込んでいた朝鮮半島では、子供室に飾られた儒教の徳目を図案化した文字絵や、主人室の冊架図や夫人室の花鳥画など伝統的な画題が、無名の絵師たちによって描かれました。また、朝鮮時代中期の文人画や記録画など官画の逸品も収蔵されております。

その他、木工品の分野では、主に朝鮮時代後期に制作された筆筒や膳などの調度類をはじめ、筆筒や状差、水呑などの小品類、螺鈿細工や牛の角を用いた華角貼の箱などが収蔵されており、その独自の造形美には目を見張るものがあります。石工品の分野では、石仏、火鉢、香炉、鍋、菓煎、筆筒・硯などが秀逸です。素材を生かした造形的な力強さもさることながら、丁寧に繊細な石彫りの細工が見事といえましょう。金工品の分野では、大型の鉄甕や真鍮を素材とした容器や鍵類、鉄製の素地に銀や鉛で紋様を象嵌した筆筒や煙草入などが挙げられます。なお、柳は陶芸家の河井寛次郎や濱田庄司と全羅南道など韓国各地を精力的に巡りましたが、そこで制作され使われていた編組品（藁や竹などによる籠や箱や箒類）や、団扇などの紙工品にも蒐集の眼を向けたのでした。

1. 染付鉄砂窓絵花鳥文壺 朝鮮時代 18世紀前半 高40.3cm 2. 龕室（かんしつ）〔厨子〕 木製漆塗 朝鮮時代 17世紀 高61.5cm 3. 草虫図（対幅のうち右幅部分） 紙本着色 朝鮮時代 19世紀

記念講演会 柳宗悦 浅川巧が愛した韓国 - 柳宗悦・河井寛次郎・濱田庄司が歩いた道歩く
〔講師〕 藤本巧（写真家） 5月7日(土) 18:00-19:30 〔料金〕 300円（入館料別、要予約）

- 開館時間 10:00 - 17:00（入館は16:30まで） 休館日 月曜日（ただし祝日の場合は開館し、翌日振替休館） 入館料 一般 1,100円 大高生 600円 中小生 200円
- 西館公開日（旧柳宗悦邸） 会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、第3土曜（開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで） 所在地 〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33
- 電話番号 03-3467-4527 交通 京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<http://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

次回展予告・創設80周年特別展 日本民藝館所蔵 沖縄の工芸 6月21日(火)~8月21日(日)

